

## 2. 個別意見

### (1) 人口減少抑制対策について

ア 生産年齢人口の増加対策は、人口減少の抑制に効果的であると考えられるため、定住支援とともに、若者の雇用確保など戦略的な施策に取り組まれない。

イ 新型コロナウイルス感染拡大により、地方移住への関心が高まっており、今後、在宅勤務や休暇先での就業などのさらなる進展が想定される。

この状況に即し、国が地方創生のポイントとして示すリモートワークを応用した定住支援策として、個人への空き家活用支援や企業へのサテライトオフィス開設支援、育児と就業との両立支援等、各種取組を推進されたい。

### (2) IoT、SNSの活用について

新型コロナウイルス対策とは別に、これからの社会は、IoTやSNSの普及は大いに推進すべきである。一方、情報格差の解消や情報モラル尊重の啓発に努め、思いやりのある「協働」のまちづくりを推進されたい。

### (3) 地域の人材育成について

さまざまな局面、取組、組織等における地域の人材育成について、誰もがリーダーになり得る環境の整備を推進されたい。

### (4) 地域活力の維持について

ア 赤穂市の各地区の歴史が、赤穂市全体の沿革を構成していることを再認識した上で、それぞれの歴史文化を市民の間で共有することができる取組を推進されたい。

イ 今後の人口減少・少子高齢化社会による地域活動のあり方にも目を向け、まちづくり活動を支援されたい。

ウ 高齢ドライバーは、市街地を離れるほど車を手放せなくなるため、是非、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向けた取組を検討されたい。

エ 文化活動の支援・育成の充実を図られたい。

### (5) 自然環境の保全について

ア 自然環境の保全にあたっては、人間本位の視点ではない、自然との共生を図る考え方で取り組まれない。